

検討会の目的

住民の豊かなくらしの実現に不可欠なバス・鉄道などの地域交通について、**人口減少やコロナの影響で一層厳しい状況であることを踏まえ、最新のデジタル技術等の実装を進めつつ、①官と民で、②交通事業者相互間で、③他分野とも、「共創」を推進し、地域交通を持続可能な形で「リ・デザイン」（刷新・再設計）する方策**を探る。

主な検討課題

- ①意欲ある地域・自治体と事業者等が、
能動的に長期安定的な交通サービスの提供を
実現するための制度設計
[= 官民共創]
- ②バスと鉄道やバス事業者相互間で垣根を超えた
交通サービスの展開
[= 交通事業者間共創]
- ③エネルギー・医療などくらしに関わる産業領域が
一体となって支える地域交通
[= 他分野共創]

スケジュール

3月31日（木）	第一回検討会 趣旨説明
4月18日（月）	第二回検討会 ヒアリング
5月10日（火）	第三回検討会 ヒアリング・論点整理
5月26日（木）	第四回検討会 中間とりまとめ（骨子案）の検討
6月7日（火）	第五回検討会 中間とりまとめ（案）の検討



今夏までに結論を得て、概算要求等に反映

構成員

加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科教授 神田 佑亮 呉工業高等専門学校環境都市工学分野教授 ◎中村 文彦 東京大学大学院新領域創成科学研究科特任教授 吉田 樹 福島大学経済経営学類准教授（50音順・敬称略・◎は座長）	事務局：国土交通省 総合政策局 公共交通・物流政策審議官部門 （オブザーバー：国土交通省 自動車局・鉄道局 等）
--	---

※会議は原則非公開
 ※『鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会』（令和4年2月～）における議論と連携